

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年5月22日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、私から補足説明をいたします。

まず、1ページ目、1.原子力規制委員会についてでございます。

まず、(1)といたしまして、第10回となります原子力規制委員会の、こちらは定例会でございますが、これが明日5月23日水曜日の午前中に開催される予定でございます。議題は4件予定されております。

まず、議題1「島根原子力発電所2号機中央制御室空調換気系ダクトの腐食を踏まえた原子力事業者の点検調査結果について」。こちらは島根2号機における換気系ダクトの腐食孔の事象につきまして、これを踏まえて各原子力事業者において点検調査を行ってきておりましたが、その結果について、委員会に報告を行うというものでございます。

次に、議題2「事故・トラブル事象への対応の進め方について」。こちらは先般4月25日の委員会におきまして、事故・トラブルへの対応につきまして、透明性の向上、また、迅速化等について指示があったところでございます。これを受けまして、事務局、原子力規制庁におきまして対応方針の案を取りまとめましたところ、これを委員会にお諮りをするというものでございます。

次に、議題3「技術情報検討会の最近の運営状況等について」。こちらの内容でございますが、技術情報検討会という検討会を、原子力規制庁におきまして、国内外の原子力施設の事故・トラブルに係る情報、あるいは最新の科学的・技術的知見を規制に反映させる必要性の有無、これについて整理することを目的としてこの検討会を開催してきているところでございます。今回はこちらの技術情報検討会の開催の近年の運営の状況につきまして、委員会に報告を行うというものでございます。

最後に、議題4「国際原子力規制者会議（INRA）等の結果概要について」。こちらは先日5月15日～17日に韓国の慶州で開催されましたINRA（国際原子力規制者会議）の会合に安井長官が出席をいたしましたところ、その概要について報告を行うというものでございます。

次に、広報日程の1. (3) 第12回原子力規制委員会の臨時会議が来週5月30日水曜日の

夕刻5時から開催される予定でございます。こちらは主要原子力事業者の経営責任者と順次意見交換を行ってきているというものでございまして、今回は東京電力の小早川社長ほかにも出席をいただき、幅広く意見交換を行うというものでございます。

次に、広報日程2ページ目中段、5月24日木曜日、(4)の会合でございます。こちらは原子力発電所における配管支持間隔の設定方法に関する会合というものを開催するというものでございます。

こちらの会合の経緯及び内容でございますが、先週5月16日の原子力規制委員会におきまして、この記載の問題、すなわち配管支持間隔の設定方法に関しまして議論が行われたところでございます。その議論の結果、事業者から公開の場で見解を聴取するということになりました。これを踏まえまして開催をするものでございます。関西電力、四国電力ほかの原子力事業者にも出席をいただき、本件問題についての見解について説明を聴取するということを予定してございます。

次に、その下、5月25日金曜日、(5)の審査会合でございます。こちらは議題といたしましては、記載のとおり、中国電力・島根原子力発電所の津波影響評価についての審査を予定してございます。こちらは津波影響評価について、前回の議論を踏まえてコメント回答を予定しているところでございます。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。コウノさん、どうぞ。

○記者 中国新聞のコウノと申します。お世話になります。

本日、ニュースでもあったのですが、中国電力が島根3号機の審査申請に向けて、地元自治体に事前了解の申し入れをいたしましたとニュースがあったのですが、審査申請前なので、お答えしにくいとは思いますが、申請があれば粛々と審査を進めることに手続的になるのかどうか、まずお聞きしたいと思っております。

○大熊総務課長 御質問の中で今もう触れていただきましたけれども、そうした地元での調整が行われているということは、私どもも報道で承知をしております。まだ申請をいただいているという段階に至っておりませんが、申請をいただきましたら、原子力規制委員会としては粛々としっかりと審査を行っていくということになるというところでございます。

○記者 あと、もう一点、今、島根2号機が既に審査中だと思うのですが、他社さんの原発から見ても、まとめて審査できるところは効率的にしていくという形をとられていますけれども、2号機、3号機とまとめて審査するような形になるのかどうか、お聞きしたいと思っております。

○大熊総務課長 今回の御質問は、審査の進め方について、2号機と3号機、どういう関係でという御質問だと思いますけれども、まだ申請もいただいている段階ですので、何か決まった方針があるということではございません。申請をいただいた段階で、まさに中国電力さんの方でどういう形で審査への対応・説明を進めていきたいかというお考えにもよるところも大きいかと思えます。そういったところもお聞きしながら、具体的な進め方を考えていくということになるものと思えます。

なお、蛇足ですが、当然ながら、自然の状況について、基準地震動その他についての知見というのは活用できる部分が多いはずですので、それについてはしっかり活用して審査を進めていくということになると思えます。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますでしょうか。スズキさん。

○記者 毎日新聞のスズキです。よろしくお願いします。

北朝鮮の方で、明日から数日以内に地下核実験場の爆破をするというような予定になっているのですけれども、規制委員会としても、これまで北朝鮮の核実験のときに放射線の空間線量を測ったり、いろいろ対応はされていたと思うのですけれども、仮に爆破があったときの対応でもし検討されていることがあったら、ちょっと教えていただきたいと思えます。

○大熊総務課長 北朝鮮で核実験が行われた場合など、政府全体としてモニタリングの体制を、これまで必要に応じて強化をして、政府全体として対応すると。その中で、原子力規制委員会・規制庁として必要な役割を果たして対応してきたというところでございます。

今御質問があった爆破を予定しているということですが、それについて、私どもとして、原子力規制委員会として独自に何か確認しているということもございませんし、現時点で何か方針を決めているということではございません。政府全体として対応の方針というものが決まっていけば、その中でしっかりと役割を果たしていくということになるものと思えます。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますか。タケオカさん、どうぞ。

○記者 共同通信のタケオカです。

あしたの定例会の議題1番なのですけれども、もう少し、どのような内容になりそうか具体的をお願いします。

○大熊総務課長 こちら、議題1つ目の内容という御質問であります。内容という御質問ですが、経緯も少し補足させていただくと、こちらは御案内のとおりかもしれませんが、平成28年に島根原子力発電所の2号機で中央制御室の空調換気系のダクト

に腐食孔があったという事象が明らかになったところであります。これを受けて事故の原因の評価、また、対策についての報告を受け、それに対する委員会としての評価の判断ということは、本年の1月に委員会に報告をして、決定をしたというところでございます。

一方、他の原子力事業者で同様な問題がないかということについて、いわゆる水平展開ということでございますが、各原子力事業者に調査を行うように要請をして、調査を行ってきたところであります。これについて、一度中間報告というものを既に行っております。これは昨年12月になりますが、中間報告という形で行った。その後、追加の情報報告というものがまた集まってきておりますので、その状況全体を委員会に報告するという事を予定しているものでございます。

それぞれの電気事業者等、原子力事業者において同様の問題があったのか調査した結果、どうであったのか。また、その状況について、今後、規制庁としてどのように対応していくのか。そういった方針を委員会に報告したいと考えております。

- 記者 経緯を全て把握していなかったものもあるのですけれども、そうすると、中国電力の島根2号機の原因究明なり、再発防止対策という話と、他の事業者の水平展開の話の2本が明日取り上げられるということでしょうか。
- 大熊総務課長 明日は水平展開の部分について、他の事業者についてどうであったかと。他の原子力発電所について、どうであったかということについての報告でございます。島根2号機についての評価については、既に今年1月に委員会への報告というものを行ったところでございます。
- 記者 一度、各社対応について、去年の12月に中間報告があるということなのですが、各社から集まってきた追加情報というのは、どういったものになるのでしょうか。
- 大熊総務課長 そうですね。前回との詳しくどこが追加かということは、詳細に見ないと明確に今直ちに御説明はできませんけれども、様々な事業者の中で確認がとれたところが前回より増えています。まだ報告待ちの部分もございますけれども、かなりの大多数の発電所・原子炉について結果が分かりましたので、その結果について、おおむね全体に近い分が分かったということで報告をするということでございます。前はまだ調査中であるところがかなり多数ございましたので、ほぼ大多数についての情報が集まったということで、今回、報告をするということでございます。
- 記者 この中国電力・島根2号機の後には、幾つかの軽水炉だったり、核燃サイクル施設で同様の事案があって、規制委員会にも報告はあったかと思えますし、各事業者でプレス発表等もあったのですけれども、今回、新たにダクトの腐食が発覚したような事案というのは、明日の報告の中には含まれるのでしょうか。
- 大熊総務課長 発覚というほどのものかということとはございますけれども、かなり網羅的に広く調査をする中で、詳しくは明日、整理して御報告するという段取りですので、そこでお聞きいただきたいと思っておりますけれども、幾つかの施設で腐食の存在ということ

はあったようでございます。ただ、その程度などからして、制御室の居住性等に影響を与えるようなものではなかったということで事業者においては評価がなされていると、そういった水準の事象が報告をされると承知しております。詳しくは、具体的には明日お聞きいただくようお願いいたします。

○司会 以上でよろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—